

実験動物麻酔装置 SN-487-1T Scan



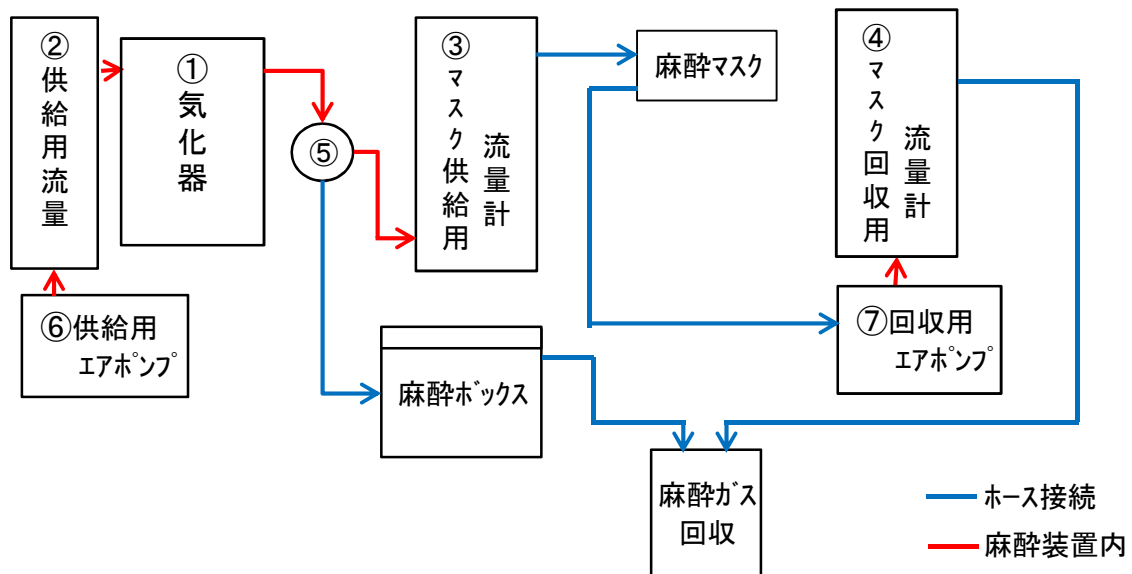
- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ① 気化器(イソフルラン or セボフルラン) | ⑤ マスク供給用
流量調整ダイヤル |
| ② 供給用流量計 | ⑥ 供給用エアポンプ |
| ③ マスク供給用流量計 | ⑦ 回収用エアポンプ |
| ④ マスク回収用流量計 | |

本製品は、実験動物麻酔装置 SN-487-1T をベースに、(導入用)麻酔ボックスと(維持用)麻酔マスクへ、同時に麻酔ガスを流すことができます。
また麻酔マスクへ供給する麻酔ガスの流量が正確に調整できるので、回収用エアポンプと流量計にて、麻酔マスクへ供給した麻酔ガスをマスクから漏れることなく、確実に回収・吸着させることができます。

このタイプは、複数匹の動物を導入させながら同時に維持麻酔を行うため、CTスキャンなどのイメージング装置に最適です。

実験動物麻酔装置 SN-487-1T Scan 説明書

接続回路概略図



- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ① 気化器 (イソフルラン or セボフルラン) | ⑤ マスク供給用
流量調整ダイヤル |
| ② 供給用流量計 | ⑥ 供給用エアポンプ |
| ③ マスク供給用流量計 | ⑦ 回収用エアポンプ |
| ④ マスク回収用流量計 | |

使用方法

まずは上図のようにホースを接続と気化器・麻酔ガス回収の使用準備を行います。
 (気化器と麻酔ガス回収に関する使用方法は、それぞれの説明書をご覧ください。)
 エアポンプのスイッチを入れます。供給用流量計②を0.8リットル/minに合わせます。
 マスク供給用流量調整ダイヤル⑤にて、マスク供給用流量計③を0.3リットル/minに合わせます。
 これにより、残りの流量0.5リットル/minが麻酔ボックスへ流れます。
 次にマスク回収用流量計④をマスク供給用流量計③と同じ流量の0.3リットル/minに合わせます。
 これにより、マスクへ供給した麻酔ガスが確実に回収・吸着が行われます。

処置を行う動物の必要数を麻酔ボックスへ入れ、フタを閉めます。
 気化器①の濃度を2%へ設定し、麻酔ボックス内の動物へ麻酔導入します。
 麻酔導入が完了しましたら、動物を1匹取り出して、マスクへ移動します。
 (ボックスから取り出した動物は、1~3分ほどで覚醒しますので、速やかに移動してください。)
 処置後は動物をマスクから取り外し、ボックス内の動物をマスクへ移動し、処置を行います。

使用後はエアポンプを動かしたまま気化器①を0%もしくはOFFにして、麻酔ボックスやホース内の麻酔ガスを回収するため空運転を行って完了です。